

# まちのイメージ ベスト3発表！

回答を集計した結果が以下のようになりました。



## 1位 道の駅あびらD51ステーション（16票）

平成31年4月19日にオープンし、翌年7月3日に来場者100万人を達成しました。農産物直売所ベジステをはじめ、蒸気機関車D51 320号機が鉄道資料館に展示されています。

町内 10代男性

「人気がある」

苫小牧市 50代女性

「野菜がたくさん売っている」

苫小牧市 50代女性

「子どもが電車好きだから」



1位に輝いた「道の駅あびらD51ステーション」について、あびら観光協会事務局次長の西嶋基さんとベジステで働いている地域おこし協力隊（農作物直売所推進員）の遠藤玲奈さんにインタビューをしました。

「道の駅あびらD51ステーション」は、安平町の情報発信の拠点になりますので、イベント情報はもちろん、グリーンツーリズム事業の体験イベントや新メニューのご案内などSNSを活用した情報発信に注力しています。

グリーンツーリズムでは、メロン畑、とうきび畑、そば狩り・そば打ち体験を通じて、農家の人たちや店員さんと交流する機会を設けました。参加者の満足度が高かったようで、体験型のイベントへの参加者が増えています。鉄道、食べ物、特産品、季節に合わせたイベントで道の駅あびらD51ステーションへの集客を図り、ご来館いただいたお客様に安平町の「体験スポット」、「飲食店」、「キャンプ場」などを知っていただきたいです。

そして、町内を回遊していただくよう促していきたいと思っています。道の駅あびらD51ステーションに行けば、「楽しいことが待っている」と感じてもらえるような存在でありたいです。

新型コロナウイルス感染症が収束したら、複数の団体や企業が関わるイベントでしたので、中止や延期になったイベントを開催していきたいです。



あびら観光協会  
事務局次長  
西嶋 基さん

今の旬の野菜は、カボチャ、ジャガイモ、キャベツなどです。

品目ごとで見やすいように、2段にして野菜を見せるようにしています。例えば、ミニトマトは様々な種類があるため、品種ごとに分けてPOPをつけたり、人気のトマトは目立つところに置くようにしています。野菜が傷まないように置き、クーラーを使って温度調整しています。

時期に合わせたイベントとして、夏はゆできび、秋は収穫祭（詰め放題、新米食べ比べなど）とハロウィンイベントを開催します。また、今後の活動としては試食販売をやっていきたいと考えています。ベジステは、色々な野菜を選べる楽しい場所でもあり、農家さんとお客様、農家さん同士とでみんなが繋がる交流の場です。新鮮で、スーパーにはない珍しい野菜も置いてあるので、楽しみながら買ってほしいです。



地域おこし協力隊  
遠藤 玲奈さん

2位以下は次ページに続く